

患者さんの安心と信頼を獲得するために

インプラントトラブルの報道を受け、自由診療とはいえ、何らかの規制や監督が必要な時期に来ているという声が高まっている。

—NHK「クローズアップ現代」番組HPより

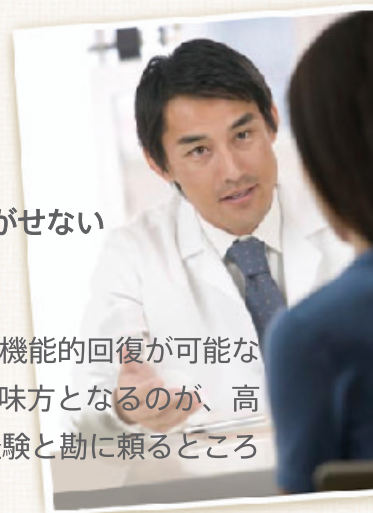
厚生労働省の研究班が調べたところ、

- 治療を始める前に神経の位置などを確認する検査を行っている歯科医師は61%
 - 全員にCT検査している医療機関57%
 - 治療の障害となる持病を把握するための血液検査などの値を確認している歯科医師は23%
- にとどまっていることが分かりました。 (2012年6月25日 厚生労働省調査報道 NHK)

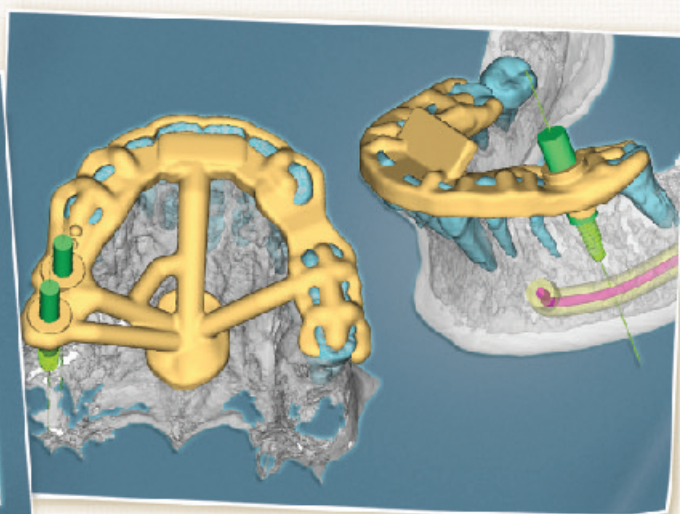
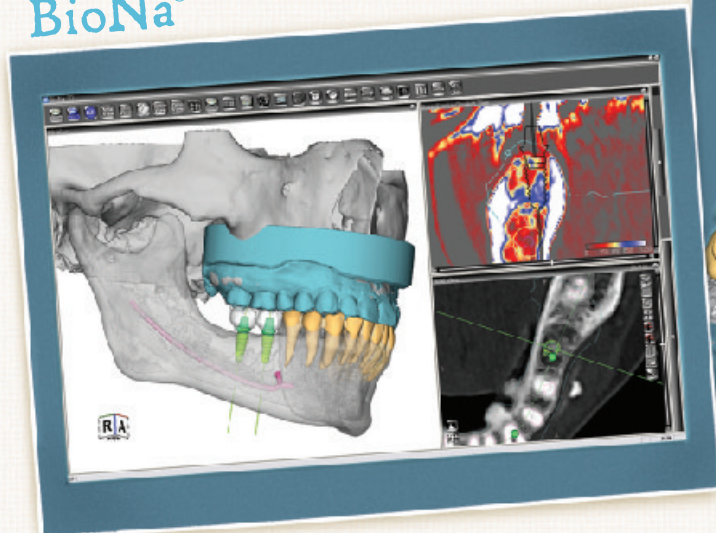
一連の報道は一般の方々にも影響を与え、「インプラント治療を希望する患者さんが減った」という先生方の声も聞かれます。日本歯科インプラント器材協議会に加盟する某インプラントメーカーの担当者のお話では、フィクスチャーの出荷本数が前年に比べ2割程度減少しているとのこと。それだけ今回の報道が国民に与えた影響は大きかったと言えるのではないのでしょうか？ 患者さんが持つ不安を解消するには、下記の4項目が重要と思われれます。

- ✓ 事前のCT検査は必ず必要
- ✓ 血液検査などの事前検査を充実させる
- ✓ 他の治療オプションについても患者さんに説明し、インプラント治療選択を急がせない
- ✓ セカンドオピニオンを勧める

何かとトラブルが報じられていますが、残存歯への少ない侵襲、質の高い審美的・機能的回復が可能など、インプラントは素晴らしい治療であることに変わりはありません。そこで先生の味方となるのが、高品質なシミュレーションソフトとコンピュータガイドドサージェリーです。従来、経験と勘に頼るところが多かったインプラント治療を、デジタルの力で強力にサポートします。



BioNa®



Bone Navi® System

BioNa®は鮮明な画像で非常に診やすいシミュレーションソフトです。シミュレーション結果を正確に反映するサージカルガイドは、歯牙適合精度が高いことが特長です。あらゆるインプラントメーカーのドリルシステムに対応いたします。